

中学校が一つになりました

広田中学校が閉校し、砥部中学校と統合しました。広田地域の生徒は、4月から、新たな仲間と一緒に、新しい学校生活を送っています。

最後の卒業式

3月17日、広田中学校で最後の卒業式が行われ、11人の卒業生が巣立ちました。

在校生代表の松永崇志さんは、送辞で「くじけそうになったら広中の3年間を思い出して」と述べ、卒業生代表の大家尚也さんと太田日向子さんは、「心の中で母校は生き続けま



卒業証書を受け取る生徒

広田中学校で閉校記念式典



中村町長(左)に広田中学校の校旗を返還する福島校長

3月22日、広田中学校で閉校記念式典が行われ、同校は62年の歴史に幕を閉じました。

中村町長は、冒頭の式辞で、「新生砥部中の一期生の気持ちで通ってほしい」と生徒たちにエールを送りました。

生徒代表の大城戸良平さんは、「4月からは、積極的にみんなと交流し

たい」と、新しい学校生活への抱負を語りました。

最後に、出席した生徒やOBら約220人が、校歌を斉唱し、母校に別れを告げました。

式典の後には、広田中を語る会が催され、4人のOBが在校当時の思い出を語り、また、校門横に設置された記念碑の除幕式が行われました。



出席者による最後の校歌斉唱

スクールバスで初登校

4月8日、広田地域の生徒10人が、スクールバスで初登校しました。

砥部中学校までは、約35分の道の

りです。バスの中で、生徒たちは新生活の語で盛り上がりました。



スクールバスで砥部中学校に到着した生徒たち

新生砥部中学校がスタート

4月8日、砥部中学校で開校式が行われました。

水沼校長が新生砥部中学校のスタートを宣言した後、旧砥部中学校と旧広田中学校の生徒代表が、「これから一緒に頑張りましょう」と壇上で抱負を述べました。



新生砥部中学校での抱負を語る生徒代表